

発注企業動向調査結果

-2024.9-

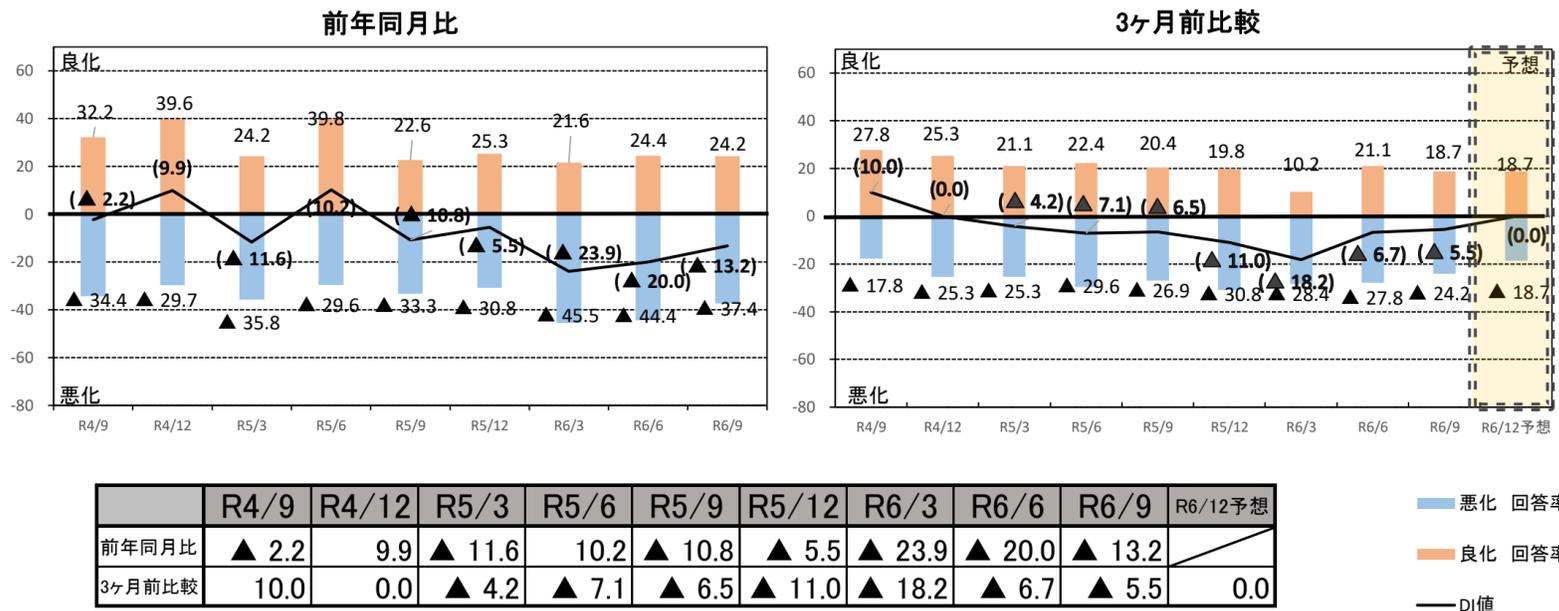
- 調査時点 令和6年9月調査(令和6年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 91社(回答率:60.67%)

<業種内訳>

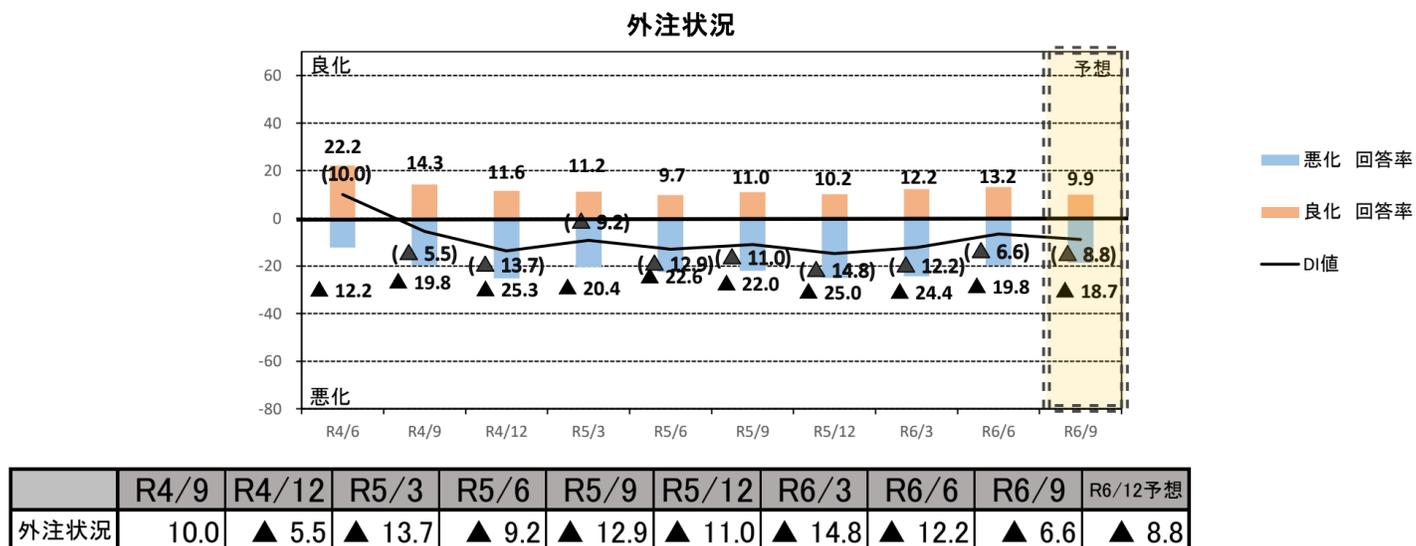
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	10社
一般機械器具	14社
電気機器	22社
輸送用機器	17社
精密機器	3社
縫製	4社
計	91社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲13.2で、前回の▲20.0から6.8ポイント増となった。
 - ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲5.5で、前回の▲6.7から1.2ポイント増となった。
 - ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲6.6で、前回の▲12.2から5.6ポイント増となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が0.0、外注状況が▲8.8という予想になった。
 - ・その他自由意見として、
 - ・人材不足が課題である。
 - ・材料値上げが続き、製品に価格転嫁できていないものもあり、厳しい状況。
 - ・得意先在庫が減少しつつあるため、受注が活発化するとの情報もあり期待している。
 - ・3ヶ月前より若干増加傾向にあるが、前年の水準までは戻っていない。
 - ・'24年第四四半期~'25年第二四半期まで全体的に受注減傾向。
 - ・'25年第一四半期~受注案件が海外展開予定
 - ・車載器関係受注が車業界問題で半年遅れ気味となっている。
 - ・通信・社会インフラ系が非常に厳しい状況
- という意見が寄せられた。